

集落元気かわら版

発行所 〒650-8567
神戸市中央区下山手通5-10-1
兵庫県ビジョン担当課内
「集落元気応援隊」
TEL. 078-362-4314

行頭

(上郡町)



民話・伝説を訪ねて

12月18日、Tioクラブ(芦屋市)の皆さんが行頭集落を訪れました。同クラブは阪神南地域(尼崎市、西宮市、芦屋市)で、地域の写真を掲載したポストカードや地域の民話をつなぎ合わせた双六を作成するなど、地域資源の掘り起こしと情報発信に取り組んでらっしゃいます。



先日の元気交流会で、行頭集落にも古くから伝わる言い伝えがあるということをお聞きになり、今回、現地を訪問されました。

行頭にはこんなお話があるんですよ！

(火事とお酒)

行頭(延野部落)では、正月3が日は家で酒を飲んではいけないという言い伝えがあります。



大昔に火事で延野が全部焼けてしまったのです。その時、部落の皆さんは「正月3が日はお酒を絶対飲まないようにしますから、二度とこんな火事が起こらないようにしてください。」と神様に約束しました。

後にその約束を破って、正月にお酒を飲んでしまった人がいました。すると火事になってしまったそう。

今でも、延野の皆さんは正月3が日に家でお酒を飲みません。もちろん、お客さんが来られてもお酒は振る舞いません。お酒そのものも家の中に置かずに、納屋の陰の方に置いておきます。そして、正月の4日目になって初めてお酒を飲むことができます。

(歯痛に効く五輪さん & 牛神さん)

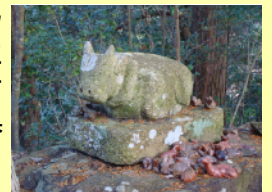
船坂小学校行頭分校跡西側の小高い丘に「ノリムネさん」という赤松一族の武将の墓と伝えられている五輪さんがあります。



五輪さん

この五輪さんには、削り取られた跡があります。1ヵ所は穴になっています。これは、五輪さんに祈願すると歯痛が治ると伝えられ、村の人は歯が痛くなると墓石をのみで削り、口に含んだそう。すると痛みが止まったと言われています。

五輪さんの横には牛神さんが奉られています。まわりに小さな焼き物の牛が置かれており、よその牛神さんにお参りしたたびに買ってきて、奉ったものだそうです。



牛神さん

(鳳宮池の人柱)

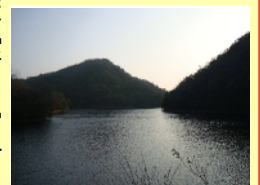
江戸時代の中頃、行頭を含む船坂地域は慢性的な水不足であり、少し日照りが続くと干ばつに見舞われ、農作物の収穫は皆無でした。人々の生活は厳しく、悲惨な日々を過ごしました。

赤穂藩では鳳宮池の拡張工事を進めたが、造ってはたまの豪雨で堤が決壊し、なかなか完成しませんでした。「どうだろう、人柱を立てては？」

しかし、人柱なんて見つかりません。「わしの娘を人柱にたててくれ。」その名主には12歳になる「しの」という一人娘がいました。しのは悲しそうでしたが、一言も言いませんでした。

しのは人柱として犠牲に。その後、工事は無事完了しました。人々は池のほとりに地蔵を建て、しのは霊を慰めたといひます。

こうしてできあがった鳳宮池の水は、行頭を抜け70町歩の船坂の田を潤しました。



鳳宮池